



郵政産業ユニオン TOKYO

● 発行 ●
 郵政産業労働者ユニオン
 東京地方本部
 発行責任者 田中 孝史
 〒104-0031 中央区京橋 3-6-3
 京橋通郵便局 5F
 TEL・FAX 03-3535-5447
 piwutokyo@yahoo.co.jp

労働条件の切り下げによる均等待遇は許さない！

22春闘要求を提出

2月4～5日に第10回中央委員会が開催され、22春闘がスタートしました。東京地本は1月27日に第17回地方委員会を開催し、22春闘要求を決定、2月3日に提出をしました。コロナも依然終息の兆しもなく、「郵便制度の見直し」が実施されて初めての春闘で、6年連続のベアゼ

の要求、「郵便制度の見直し」での期間雇用社員の労働条件変更、郵便部でのロールパレットの修理やパレットの補充等になっていきます。要員関係では、先の交渉で会社側は、「土曜休配になれば一定の要員不足は解消する」と回答しています。しかし、各職場からは、要員不足が解消されたといった声は上がってきていません。現場に全てしわ寄せすることには断じて許すことはできません。2025年までに3万人の削減が予定されていることを考えると、要員不足が解消することは簡単ではないと判断しています。現場での実態を突きつけて粘り強いたたかいをしていきます。

22春闘勝利第一波行動

3.4 地本キャラバン行動



- 赤坂局 ビラ配布 7:00
- 集会 7:30
- 東京支社 集会 9:00～9:30

非正規社員の均等待遇と

正社員化を求める郵政本社前集会

- 署名提出 11:00
- 本社前集会 11:30～12:15
- 院内集会 14:00～15:00

主催：郵政リストラに反対し、労働運動の発展を目指す全国共同会議

また、新施行の勤務時間については、「準備時間」の設置がされます。この時間が15分増えたことは、拘束時間が伸びたことになり、東時間が必要で、提示のない職場があれば即地本へ連絡をお願いします。郵便部関係の要求は、地方委員会でも出された意見をまとめました。壊れたロールパレットが多くあり、早急に修繕や更新が必要です。翌配体制見直し以降、特に集中局ではパレットの数が不足してきています。ゆうパケットと一般の通常郵便との混載が出来ないことも大きな要因です。

労契法20条の最高裁判決で決定されていることを、JP労組と一緒に不利益変更しようとして、断固として反対していきます。今年度の定期人事異動内命が3月1日となっていることも踏まえ、早急の交渉を求めていきたいと思えます。地本交渉部は、今春闘の先頭に立つてたたくていきます。



2年前に発生した新型コロナウイルス。またたく間に世界中に広がり、多くの人の命を奪い、人々の生活に打撃を与え続けている。しかし先進各国は早くコロナ禍の経済停滞から立ち直ろうとしている。一方日本経済は停滞したまま。欧米や中国の経済回復は財政支援の他、個人消費の急激な回復による。日本は個人消費の回復が遅い。▼90年代以降、大企業の人減らし合理化、給与削減を柱とした労務コスト削減で、低賃金構造を作り続けてきた。このことが消費力を奪い、売り上げ減少、設備投資抑制、雇用抑制という悪循環に▼一方で大企業は売り上げの減少分を更なる雇用削減、賃金抑制、そして金融資産の利息等多様な金融収益で利益を確保し内部留保を増やしている。賃上げの余地は十分ある▼今年の春闘で賃上げ、増員等要求実現に向かって郵政ユニオンに

全国一律1500円の実現を

地評・春闘学習交流集会

東京地評公務部会の20春闘をめぐる情勢や非常勤22年春闘学習会交流会集 職員の処遇改善をめざすた
会がリモート併用で、2月 たかい、労働基本権をめぐる
12日エディカス東京で開 たたかいなど、わかりやすく
催されました。

秋山正臣全労連公務部会 要求前進のチャンスが広
事務局長が「公務をめぐる がっている今、住民と一体と
22春闘情勢とたたかいの なった運動の前進で展望を
方向」のタイトルで講演し、 切り拓こうと呼びかけ、参加



膨大な内部留保を賃上げに回せ

官製春闘を打ち破ろう

22けんり春闘・経団連行動

2月18日、12時10分より22けんり春闘全国実行委員会主催による経団連行動が行われました。経団連前には100名が結集し、郵政ユニオンから7名が参加しました。東京全労協の本木事務局長の進行で主催者として共同代表の全港湾真島委員長があいさつし、コロナ禍で苦しむ国民のくらしを1日も早く安心・安全な社会に導くためにも経団連は賃上げに応じるべき、今日から本格的な春闘がスタートすると発言し

ました。続いて東京清掃の江守委員長が発言。エッセンシャルワーカーとしていつ感染するかわからない状況で働いている。コロナを口実に雇止め、シフト減など行われ多くの非正規労働者、とりわけ女性が苦しんでいる。今こそ内部留保を吐き出させ賃上げを行い、8時間働けば暮らせる社会、誰でもどこでも時給1500円、月給25万円を目指して奮闘しようと呼びかけました。次に全国一般東京渡辺書記長は、22春闘のたたかいとして第二派

者と共に決意を固め合いました。

白滝誠東京春闘共闘会議事務局長からは特別報告で「生計費調査と私たちの要求」では3,300人規模で実施した生計費の実態調査について多くの資料を使って報告され、全国一律最低賃金1,500円の要求の根拠を学びました。

各職場のたたかいの交流で私達郵政ユニオンから三村執行委員が、22春闘要求と労働条件の改善を許さないうたたかいを進めていくと発言しました。



行動を準備している。特に勤務間インターバルをメインにたたかいを進めていくと発言しました。

続いて全統一労働組合の坂本書記次長があいさつし

速報!!

団結と行動で22春闘に勝利しよう!

2月24日
第2回支部長会議・
春の学習会を開催



東京医労連書記長青山さん「労働組合運動を、22春闘を元気にたたかうために」講演

当面の行動日程

- 3月 2日(水) 22春闘中央集会 日比谷野音12時10分 4日(金)
- 東京地本キャラバン
- 第1波行動(本社前要求行動・院内集会)
- 第7回地本執行委員会(22春闘行動について)
- 10日(木) 第7回東京地本執行委員
- 11日(金) 脱原発プロジェクト 東電本社前行動
- 23日(水) 東京総行動

に休んでそのまま育児休業に入ったら解雇された。大好きな日本で旧態依然の会社が存在することに驚いた。子供を育てられる社会を作りたいと訴えました。

続いて大阪ユニオンネットワークの西山さんは官製春闘など労働者がなめられている。権利獲得のために、多くのたたかう労働者が

は、多くのたたかう労働者が団結しないと労働者の権利は勝ち取れないと訴えました。最後に中小労組政策ネットワークおよび全国一般全国協代表の平賀さんの団結ガンバローで経団連前行動を終了しました。